



議会だより



神河町マスコット
キャラクター
「カーミン」

かみかわ かみかわ

第 53 号

平成 30 年 1 月 12 日



初日の出(桜華園山頂から)

議案審議の様子 2 ~ 4

議会報告会 5 ~ 7

委員会の活動 8 ~ 12

6人が登壇 いっぱん質問 13 ~ 19

新体制決まる!

副町長に前田 義人氏



前田義人 副町長

第82回定例会は、12月8日から26日までの19日間の会期で開催されました。各委員会報告、諸報告に続き、町からは報告1件、専決1件、人事案件7件、条例の制定及び改正7件、農業共済組合規約の改正1件、補正予算17件、また、議会から発議2件の計36件が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。
また、一般質問は、6人の議員が行いました。

神河町副町長の選任の件

副町長に前田義人氏（寺野）を選任しました。任期は平成29年12月11日から4年間です。

監査委員の選任の件

監査委員に、清瀬茂生氏（吉富）を再選任しました。任期は平成29年12月9日から4年間です。

神河町教育委員会教育長の任命の件

教育長に入江多喜夫氏（猪篠）を選任しました。任期は平成30年1月1日から3年間です。



清瀬茂生 監査委員

教育委員会委員の任命の件

教育委員会委員に、藤原雄三氏（上小田）を再選任しました。任期は平成29年12月21日から4年間です。

選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

平成29年12月8日をもって任期満了となるため、町選挙管理委員会から議会に委員及び補充員の選挙通知がありました。

議会において選挙（指名推選）を行い、次の方を当選人と決定しました。

◎選挙管理委員会委員

- 入江洋二郎氏（猪篠）
- 竹國洋子氏（岩屋）
- 田中洋一氏（長谷）
- 岸田真砂美氏（根宇野）

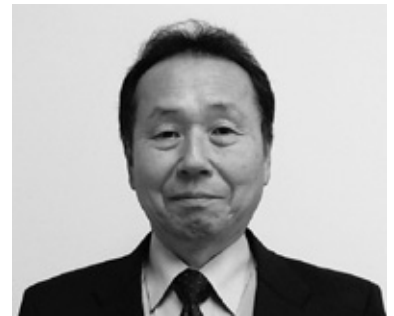
◎選挙管理委員会補充員

- ① 辻井光明氏（吉富）
- ② 難波千咲子氏（福本）
- ③ 山内敦子氏（南小田）
- ④ 山名實良氏（寺前）

※番号は補充の順序

山名町政3期目

教育長に入江 多喜夫氏



入江多喜夫 教育長

神河町固定資産評価審査委員会委員の選任の件

正城正昭氏（上小田）、西畑強氏（猪篠）、宮本善郎氏（吉富）をそれぞれ再選任しました。任期は平成29年12月9日から3年間です。

神河町ケーブルテレビネットワーク設置条例の一部を改正する条例制定の件

利用料金を、平成30年3月から現行の20000円を町内全域月額18000円に、加入負担金を、現行の10万円を2万円に改正するものです。

株式会社グリーンエコーの解散報告の件

平成29年11月22日に、株式会社グリーンエコーの清算結了登記が完了しました。残余財産は、株主の出資比率に応じて分配されました。

神河町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例制定の件

平成29年度から4年間過疎地域の指定に伴い、産業の自立促進と活性化を図るため、製造の事業、旅館業（下宿営業を除く）または農林水産物等販売業の用に供する設備を新設、若しくは増設した者に、固定資産税の課税免除を行うための条例制定です。

一般会計補正予算（第6号）

補正予算（第6号）は、10月22日に執行された第48回衆議院議員選挙経費の増額補正で、歳入歳出それぞれ10002万7000円を増額する予算が専決処分されました。

一般会計補正予算（第7号）

補正予算（第7・8号）は、台風18号と21号で罹

災した文化財指定の神社や各施設の修繕費、神崎総合病院会計への補助金及び人事院勧告に基づく給与改定等の増額補正で、歳入歳出それぞれ2億4982万1000円を増額するものです。

「道路整備の推進」と「道路財特法における補助率等の高上げ措置の継続」に関する意見書

道路整備の推進と、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の補助率等の高上げ措置の継続を求めめるものです。

全会一致で関係機関に提出しました。

「2025日本万国博覧会」の大阪・関西誘致に対する決議

大阪・関西での国際博覧会開催の意義に賛同し、誘致の実現に向け、関係機関とともに、積極的に推進するものです。

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆

報告番号	件名
第11号	株式会社グリーンエコーの解散報告の件

議案番号	件名
第97号	専決処分をしたものにつき承認を求める件(平成29年度神河町一般会計補正予算(第6号))
第98号	神河町副町長の選任の件
第99号	神河町監査委員の選任の件
第100号	神河町教育委員会教育長の任命の件
第101号	神河町教育委員会委員の任命の件
第102号	神河町固定資産評価審査委員会委員の選任の件
第103号	神河町固定資産評価審査委員会委員の選任の件
第104号	神河町固定資産評価審査委員会委員の選任の件
第105号	神河町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例制定の件
第106号	神河町工場立地法地域準則条例制定の件
第107号	神河町ケーブルテレビネットワーク設置条例の一部を改正する条例制定の件
第108号	神河町情報公開条例及び神河町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定の件
第111号	神河町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第112号	神河町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例の一部を改正する条例制定の件
第113号	中播農業共済事務組合理約の一部変更について
第114号	平成29年度神河町一般会計補正予算(第7号)
第115号	平成29年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算(第2号)
第116号	平成29年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
第117号	平成29年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)
第118号	平成29年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
第119号	平成29年度神河町土地開発事業特別会計補正予算(第2号)
第120号	平成29年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算(第2号)
第121号	平成29年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第2号)
第122号	平成29年度神河町一般会計補正予算(第8号)
第123号	平成29年度神河町介護療育支援事業特別会計補正予算(第3号)
第124号	平成29年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
第126号	平成29年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
第127号	平成29年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算(第3号)
第128号	平成29年度神河町水道事業会計補正予算(第3号)
第129号	平成29年度神河町下水道事業会計補正予算(第3号)

発議番号	件名
第4号	「道路整備の推進」と「道路財特法における補助率等の高上げ措置の継続」に関する意見書
第5号	「2025日本万国博覧会」の大阪・関西誘致に対する決議

◆賛否の分かれた議案◆

議案番号	件名	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
					藤原裕	藤原日	山下	宮永	藤原資	藤森	小寺	松山	三谷	小林	廣納	安部	
第110号	神河町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件	10	1	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第125号	平成29年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第4号)	9	1	可決	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
第130号	平成29年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第3号)	9	1	可決	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	-

○は賛成、×は反対です。12番、安部議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。

参加ありがとうございました。

議会報告会を開催

10月24日(火)
栗区公民館

10月25日(水)
越知区公民館

10月24日、25日に議会報告会を開催しました。参加者は1日目35人、2日目42人の計77人でした。

参加者の皆様から多くのご質問・ご意見をいただきました。

皆様からのご質問に当日お答えしきれなかった部分は、Q&Aの後の「その後の動き」等で掲載しています。

Q 長谷駅通過列車問題で、利用促進に向けて幅広く取り組んでいる。

山陰線の諸寄駅、居組駅、福知山線にも一駅あったと記憶しているが、これらの駅の住民はどのような取組をしているのかを勉強して議会も取り組んでもらいたい。

A 長谷地域の方にとって長谷駅は非常に重要な位置づけであると思っている。播但線の活性化という意味で運動が

広がっている。議会としても声をあげていく。

その後の動き

居組駅がある新温泉町役場に問い合わせました。現時点では町、住民の取組はしていないとのこと。

Q 長谷駅通過問題で、議会が何をやっているか分からない。町長懇談会で質問したが、近年交渉はしていない、全く進んでいないと聞いた。

4年前の町議会選挙で、長谷駅前街頭演説をし、電車が止まるように取り組むと公約した議員もいた。

A 行政と議会で平成29年2月にも福知山支社に要望書を出した。利用者が増えなければ止められない。イベント等は対応するという回答であった。同じことの繰り返しで前に進めていない。

担当委員会で協議。要望は毎年している。JRへの要望だけでなく、長谷駅の活性化に向けて、議会と行政が協力して、研究に取り組むように要望した。

その後の動き

担当委員会で協議。要望は毎年している。JRへの要望だけでなく、長谷駅の活性化に向けて、議会と行政が協力して、研究に取り組むように要望した。

Q 長谷小学校の施設整備の要望書を長谷地区区長の連名で町に提出している。新しい学校は



栗区公民館の様子

その後の動き

担当委員会で協議。区長連名の要望書を確認した。教育課で、次年度に予算要望すること。

A ご指摘のとおり担当委員会で長谷小学校の視察はしていない。今後の取組として実行したい。

Q 町民プールに22年間毎日行っている。PRしてみんなに利用してもらえば、健康増進になる。存続してほしい。

A 水の中を歩くことは健康に良いと実感している。大事にしていきたい。

Q 町民プールは傷んで費用がかかっていると聞く。なくなるとも聞いている。ダムのおかげで町がよくなってきている歴史を大事にしてほしい。

A 公共施設統合計画が策定されている。地域性、建設経緯等を十分に配慮してほしい、地元の声もよく聞いてほしいと言っている。

議会からひびく

公共施設統合計画は、地域性・建設経緯等に配慮し、地元の声を聞いて進めることが前提である。

Q サルの被害に悩まされている。地獄檻も一定の効果があったが、最近は捕獲できなくなってきた。何かいい方法がないか他地域の視察を含めて考えてほしい。

A 同じ悩みで対策しているところがあると報収集したい。思う。行政と協力して

その後の動き

担当委員会で協議。行政も抜本的な対策を見出せないでいる。継続して協議していく。

Q 「行政の光は僻地から」と言った先輩がいた。僻地は行政がテコ入れしなければ発展しない。行政に対して活性化策を示してほしい。

A 過疎債、辺地債の公平な事業展開をしていきたい。

Q ハード事業をやめて子どものためのソフト事業を。大学まで無料でいさせる。全国でもそこまでやっている自治体はない。それぐらい夢があることを考えてほしい。

A 各区長は努力しているが、過疎地域は厳しい。教育施設の充実は、これからも進めていかなければならないと思っている。

一方では行財政改革を進めなければならず、学校統廃合、重複施設を見直すという状況である。

Q 議会は神河町のことをどこまで考えているのか疑問である。工場を誘致することを考えているのか。住んでみようと思える環境づくりをするのが、議員や行政の仕事では。

A 企業誘致の話は何件かあるが、実現には至っていない。土地が狭く断念することが多い。整備して誘致できないかと提案している。

Q 町に要望したことは小さなことでも情報提供してほしい。防犯灯補助を2年遡ってとったと神崎エリアの方に言われた。

防犯灯は2年前に長谷地区全体で要望したが補助はなかった。長谷地区としてはきちんと話をし取り組んできている。

A 防犯灯は長谷地区の取組が全町に広がった。各集落の要望を議会にも入れていただいてバックアップしていきたい。

Q 神姫バスに莫大なお金を払っているが、ほとんど空っぽで走っている。バスを減らして中学生を列車通学にすればJRも考え方を变えるのでは。

A バスも残さなければならぬ。時間を調整すれば列車に乗る人も増えるのではと思う。地域の実情をしっかりと聞きながらやっていく。

Q 自治体ポイント制度ができています。主にボランティア活動、地域活動をした人のマイナンバーカードにポイント付与のことだが、神河町はどうなるのか。

A 今のところ情報を得ていない。担当委員会で情報を得る。

その後の動き

担当委員会で協議。行政側でもまだ進んでいない。今後研究していく。

Q 道路沿いの草刈りはしてもらっているが、上部の木を切っしてほしい。度々要望しているが、やってくれない。声を大にして伝えていく。

その後の動き

担当委員会で協議。行政も理解している。引き続き県に要望していく。

Q 行政の提案を議会が審査していると思うが、チェックだけではなく議会から行政に提案してほしい。

A しっかりやらなければならぬと認識している。一生懸命やる。

Q 公立神崎総合病院の運営健全化を図れないか。カンファレンスで十分な話し合いができていない。

A 医師、看護師について、住民から良いことも悪いことも聞く。必ず病院に伝えている。

その後の動き

担当委員会で協議。医師の対応について、住民からさまざまな意見がでていいることを伝えた。病院は、執行部会、医局会を通じて住民の意見を伝えるとのこと。

Q 川の駅の利用規制をする条例がないので規制できないとのことだが、なければ議会で条例をつくってほしい。

A 行政と相談して条例なり、それに準ずる方向に持っていく。

その後の動き

担当委員会で協議。町の条例、規則で規制できないか検討要請。次シーズンまでに調整したいとのこと。

Q 伊藤園は高知県の地域と協定を結んでいる。いろいろしている。ホームページ等を見て、そういった提案をしてほしい。

以前は学生が多く来ていたが、最近あまり来ない。大学と交流するなど提案してほしい。

A キンキサインとは災害時協定を結んでいる。兵庫県立大学、神戸学院大学等にまちづくりを協力してもらっている。研究していきたい。

Q 区長会で発言したが区内設置の屋外拡声器が区内全域に届かない。届くようにしてほしい。

A 有事の時に聞こえるのが原則であり、聞こえないところがあるのはもつてのほか。委員会で対応を協議する。

その後の動き

担当委員会で協議。町としては、費用のこともあり、区長会では1基でも仕方ないとのこと。議会としては、聞こえない所があるのは論外であると強く申し入れた。また、宅内放送用の個別受信機のノイズ等による不具合の早期解消も申し入れた。

Q 少子高齢化を安直に捉えているのでは。英語を話せる子どもを育てれば外国企業の誘致もできる。英語教育に力を入れるべき。

A 少子高齢化については真剣に考えている。行政と一体となって頑張っているが、満足できる成果は出ていない。

英語教育については以前からALT（外国語指導助手）、GATE（小学校英語活動支援団体）を招聘し力を入れている。

Q 越知谷地域は人口減少、高齢化に歯止めがかからない。企業誘致

も大切だが簡単ではない。地域でも高収入があげられる方法を模索しているが、1人に対してはハ

ウス等の補助もない。地域のグループで特産品を作って魅力づくりをしている。そういう考え方がいることも分かってほしい。

A 地場産の農業に力を入れておられて頭が下がる。そういったことがまちづくりに役立つ。



越知区公民館の様子

委員会の活動

総務文教

総務文教

11月9日開催

教育課

・歴史文化基本構想、同保存計画に基づき、福本遺跡整備計画の策定や歴史文化を活かしたまちづくりに取り組んでいる。

・契緊の課題として、調査や歴史文化の活用をコーディネートできる専門職員を確保したい。

・台風21号で倒壊した、県指定文化財の吉富春日神社拝殿の修復費用の3分の1を要綱により町が負担する。

Q 春日神社の修復費の地元負担は多額になるか。

A 地元も負担する方向である。復元の意向は強い。

Q 修復費は多額になる。保険制度はないのか。

A 町有建物ではないので、保険には加入していない。今後検討する。

Q 福本堂屋敷の寺院跡発掘調査の経過は。

また、経費も多かかると思うが、しっかり取り組むべき。

A 福本遺跡の窯で作られた瓦が使われた寺院跡の可能性がある。引き続き周辺調査の実施と併せ、福本遺跡の環境整備を進める。

寺院跡が見つかったことで、福本遺跡が国指定文化財になる可能性もある。今後担当職員の充実を含め、しっかり取り組んでいく。



堂屋敷の寺院跡発掘調査

Q 長谷小学校は、今後のあり方の方向は出ているが、それまでに定期的な会合を持ち、随時情報を発信する取組をさりたい。

A 32年4月に統合するかどうか、さらに検討することになっている。それまで放っておくのではなく、話し合いは進めていく。

Q スマートフォンによるいじめに対するマニュアルの改訂と指導は。

A 県の要綱に基づき策定している。SNSの急速な発展で追い付かないのが実態。しっかり対応していきたい。

情報センター

・地区説明会を大河内エリアで、1月12日から2月16日に実施する。
・インターネットの高速化は32年4月から。

Q 加入分担金は2万円の予定と聞く。現行の10万円とは大きく差が

あるが。
A 機器設置経費を基に算定した。

Q ケーブル電話がなくなると、加入している意味がないとの声を聞く。使用料は、これらを考えて設定する必要があるので。

A 住民説明会で、理解が得られるよう十分説明する。

税務課

・口座振替による報奨制度は引き続き検討する。
・税等の収納率は、ほぼ前年度並み。

Q 国民健康保険が、30年4月から県下全体で運営されるが、税金はどうなるか。

A 税金は、基本的に変わらない。

会計課

・現金等の保管状況は、適切である。

総務課

・行財政の取組状況、長期財政計画（平成44年度までの財政シミュレーション）、危機管理システム構築の取組状況等説明。

Q 工事の入札にランダム係数が取り入れられたが、不公平感も出ている。係数を公表したらどうか。

A 業者間にも温度差がある。協会とも協議してその方が良いということであれば公表する。

Q まるしいだけの計画を町が事業主体で取り組むようだが、収益施設であり、町がどこまで関わるのか十分整理する必要はあるか。

A 業者と協議中である。過疎債で対応したい。

民生福祉

11月8日開催

公立神崎総合病院

電子カルテ順調に稼働

・11月6日から電子カルテが本格稼働しているが、大きなトラブルも無く順調に動いている。

・全国自治体病院協議会に当院の経営分析を依頼しており、年度内に報告書が出来上がる予定である。

Q 医師に「掛かりつけ医院に行っていたのならそちらで診てもらったら」と言われたという話を聞いたが。

A 患者を開業医から取った形になってはいけないとの思いから出た言葉であったようである。全医師に注意をしている。

Q 紹介状がないと診てもらえないのか。

A 紹介状を持ってきていただくのが本来であるが、なくても診察している。

Q 公立病院といえども、独立採算を目指して、医師も病院の営業マンとして患者と接してもらいたい。

A スタッフは赤字には当然である。ただ、不採算部門も担っていることとの理解もしていただきたい。

健康福祉課

・郡医師会からの委託を受け、「在宅医療・介護連携支援センター」を公立神崎総合病院内に10月から開設する予定であったが、7月から募集している社会福祉士の応募がないので、開設できていない。

関係課の意見にバラつきが

Q 町社協といづみ福祉会(ゆうかり作業所)が計画している障がい者施設を旧粟賀小学校跡地に建設する方向で、役場内部で調整はできないのか。

A 健康福祉課としても、2つの施設を同じ場所に設置するのがベストだと考えている。

しかし、旧粟賀小学校跡地利用は町をあげての計画となるので、管理職会などで議論をしていければと思っている。

Q 福祉施設の人材確保は難しい状況が続いているが、町として何か手立てを考えているのか。

A 介護従事者不足やデマンドバス等の課題を近日中に関係課で打ち合わせる予定である。

Q 業者委託した緊急通報システムの対応内容。

A 緊急ボタンを押すと、業者の看護師が電話で対応し、容態により救急車の手配や近隣協力者に連絡をしてくれる。月に1回の安否確認や健康相談も受付けている。



緊急通報装置

Q 子育て世代包括支援センター(支援を要する妊婦・子育て家庭の相談や支援の連携調整等)の業務を、1人の保健師が行っているようだが、子育て支援課(係)のような組織体制を作る考えは。

A 業務状況を見ると、子育て専門の係が必要な時期になってきていると感じる。

しかし、人口減少や職員数の関係もあり、今の体制の中で連携強化を図っていく。

住民生活課

平成30年度から・県下の国民健康保険財政が一本化となる。神河町の税率は6月議会で提案予定。

・全国のコンビニで、住民票、戸籍謄抄本、印鑑証明等の取得が可能に。(ただし、マイナンバーカードが必要)

税金、水道料金の納付も可能に。

Q 安心・安全面から町に風速計を設置しては。

A 必要性を感じていたので、検討していきたい。

産業建設

11月7日開催

建設課

昨年大雪の教訓を活かされるか

Q 除雪対策は万全か。

A ランクルでの除雪を基本にしている。困難な時は、ロータリー除雪車に対応する。



出番を待つロータリー除雪車

上下水道課

合併浄化槽区域は

Q 下水統廃合時に合併浄化槽はどうする。

A 統合せずに現状のまま。耐用年数

がきており修繕が増えていく。

県との協議の中、補助の確認も取っている。新設も協議しながら進めていく。

地籍課

Q 猪俣地区の山林部の調査遅れの要因はなにか。

A 視界を遮る枝払いの承諾が遅れたため。その後、増員体制をとって、順調に進んでいる。

地域振興課

《農林業係》

景観より安全性を

Q 道の駅中庭の飛び石の間隔が広く、安全とは言えない。

A 透水性のあるガンコマサを石の面と同じ高さまで盛り、段差を無くす。



段差がなくなった飛石（道の駅）

出店の条件は

Q 町内外誰でも道の駅に出店できるのか。

A 町内は可能。また、銀の馬車道グッズは町外でも出店できる。役場と神崎フードで受付を行っている。

《商工観光係》

スキー客を見込み

Q こっとな亭横にコンビニができるのか。

A コンビニ風の商品販売店である。また、農産物直売所も考えている。

こっとな亭前の桜の木

Q 伐採 桜の木で店が見えない。

A 景観が良く、愛着もあり、切れなかつたが、看板が見えるように数本切る予定をしている。



見通しの良くなった こっとな亭のコンビニ

ひと・まち・みらい課

福本地内に企業誘致

Q どんな企業が来る予定なのか。

A マスコミも注目している市場性の高い商品の「まるしいたけ」を生産する事業所である。

Q 雇用は何人か。

A 最低でも30人。障がい者雇用も考えている。

公立神崎総合病院北館
改築事業調査特別委員会

11月10日 開催
12月21日 開催
第一期工事北館東側部分
の解体工事始まる

工事の変更

手術室4室が3室に

・眼科の手術は、可動式
の手術台でできるため、
眼科専用の手術室の必要
性がなくなる。

Q 可動式手術台は、殺
菌・消毒等衛生面に
問題は。

A 問題はない。

透析室の増床

・患者数が増えてきたの
で、19床から23床に増床
する。このことにより休
憩室が少し狭くなる。

Q 更に患者が増えても
増床は可能なのか。

A 現在、一部を総務課
が利用しているが、
撤去すれば30床位は可能。

渡り廊下の工法変更

・鉄骨を両側に張り、ボ
ルトで固定するもので
あったが、安全性も十分
確保できることからシス
テム支保工に変更。

・中館の2床部屋を渡り
廊下として利用するため
155床から2床減の1
53床になる。



解体が始まった北館

追加工事

南館エレベーター2基の
リニューアル

・建築基準法の改正によ
り改修しなければ、完成
時に許可が出ないとの指
導を受けた。

エレベーターを取り替
えるのか、部分的にやる
のか検討して行う。

Q 建築基準法の改正点
は何か。

A 現エレベーターは、
地震発生時最寄りの
階で止まるようになって
いる。

改正により、1階まで
降りて止まるようになって
たため、扉の走行保護装
置の設置が必要となる。

透析排水処理施設の新設

・水質汚濁防止法により、
透析用排水は浄化槽に流
せなくなり、排水設備を
新設する。

Q 足場を外さなくても
北館に作ればいいのか
では。

A 中和装置が工事足場
の下にあり、それを
撤去しての工事になる。

アスベスト含有に黄信号

・含有量の著しく高いも
の(レベル1)はないと
の報告であった。今回、
レベル2が1ヶ所、レベ
ル3が13ヶ所検出された。

Q 除去する時に、患者
様や近隣住民に十分
注意をして行うように。

A 労働監督基準署の立
ち会いのもと、作業
場所の隔離や防塵マスク
・保護衣などを着用し、
湿式による破壊や切断で
の作業を行っている。安
全面には十分注意をして
行う。

要因

・アスベスト除去作業。
・透析排水処理施設の新
設工事。

・台風の影響による、高
圧ケーブル繋ぎ替え作
業の延長。

・人工透析、介護療育事
業に支障があり、作業時
間に配慮。



アスベスト除去作業

完成時期が31年8月から
32年3月下旬に延期

峰山高原スキー場整備 事業調査特別委員会

11月10日開催

・総事業費は、約10億8690万円で、一般財源相当額は、約2億5657万円。
29年度の財源は、過疎債を2億4900万円充てる。

輸送計画

臨時駐車場（鍛冶区内）は、土地賃貸契約を締結し、整備工事、上下水道設置工事を発注。

トイレ、仮設事務所も設置。

高原までの輸送は、神姫グリーンバスに委託。

道路整備

上小田のチェーン着脱場は、バスが停車できるように改良。トイレは、検討中。

祇園橋から上部は舗装工事を実施。立木の伐採は、3月末までに完了。

案内看板

国道312号の電光掲示型看板は、貝野橋東詰交差点に設置、(株)協和エクスオと1144万8000円で契約。

工期は、30年1月31日まで。

電柱に取付ける看板は、設置料金108万7000円で49ヶ所に設置。

スキー場内のコース、施設案内看板などを404万円で設置。

看板設置費財源の企業版ふるさと納税は、3400万円の寄附を受けた。

スキー場利用料

指定管理者の(株)マックアースが町条例の範囲内で、利用料金を定めた。

町内の小・中学生は無料で、写真入りカードを発行し、証明書代わりにする。

危機管理対策

福崎警察署、姫路消防署、姫路土木事務所に出席してもらい、危機管理に関する対策会議を開催。

Q (株)マックアースとリスクに関して取り決めをし、文書化することであったが。

A 基本協定書で項目ごとに責任分担を決めている。

Q 基本協定の一般的な表現ではなく、具体的に詰めておくべきではないか。

A 他の例でも一般的な表現になっている。瑕疵が明らかでない場合は、協議になることが多い。

Q 解釈によっては町が責任を負わなければならなくなる。個々に詰めをし、協定する考えはないか。

A 既に協定書を交わしているの、これ以上は協議の対象となる。双方紳士的な立場で協議をしていく。

Q スキー場の雇用状況は。

A 正規職員は7人、パート・アルバイトは12人、うち地元7人。まだ足りない状況で、1人でも多くほしいのが現場の声である。

Q 危機管理対策協議会が開催されたが、その内容は。

A 宍粟市と国道312号からのアクセスルート、広報、案内標識、道路照明、駐車場の照明、凍結対策、遭難救助体制、施設内での労働災害防止、雪上車両の安全使用、事故処理、場内パトロール、スノーモービルの取扱い等である。

Q 救助訓練の申し出を受けている。

A 鮎解禁前日に濁水が流れたが、その後はどうか。

A 数回あった。沈砂池、水源池には泥が溜まっているので、最終段階で除去する。



オープンしたスキー場

Q 夏場も小・中学生は無料になるのか。

A リフトは夏場も、1回500円の料金設定である。無料化は今後協議する。

Q 来年年度に向けて暗渠対策も含めコース上に水が流れない方法を取りたい。

A 宍粟市と国道312号からのアクセスルート、広報、案内標識、道路照明、駐車場の照明、凍結対策、遭難救助体制、施設内での労働災害防止、雪上車両の安全使用、事故処理、場内パトロール、スノーモービルの取扱い等である。

みなさんの **声** を

町政に

一般質問 は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。(1人1ページ)

今回の登壇者は6人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問事項
14	藤原 裕和 議員	①山名町政の3期目を問う ②過疎地域からの脱却のための地域活性化対策は ③これからの行財政改革の進め方は
15	廣納 良幸 議員	①3期目スタートにあたり町長・副町長・教育長の決意、抱負を
16	山下 皓司 議員	①JR播但線寺前駅周辺の活性化を ②旧粟賀小学校跡地利用の取組みの現状は
17	小林 和男 議員	①長谷駅に快速列車を停車させる方策は
18	三谷 克巳 議員	①定住を促す施策・事業の内容は
19	松山 陽子 議員	①高齢者等低所得世帯に住宅修理費等の助成を ②「銀の馬車道・鉱石の道」日本遺産認定をどう活かすのか

議会の本会議は傍聴することができます。希望される方は、本会議当日に議場入り口の傍聴人受付簿に住所、氏名等を記入してください。なお、定員は先着順に30人までです。傍聴者が20人以上となる場合傍聴席の準備が必要となりますので、団体での傍聴を希望される場合は事前に事務局までご連絡ください。

本会議場での傍聴をお待ちしています。

Q

山名町政の3期目を問う



藤原 裕和 議員

町長 20年、30年後のまちづくりを!

これからの4年新たな決意は

Q 町の合併から12年が過ぎましたが、依然として人口減少が続き、ついに過疎地域の指定を受けた。3期目でもあり、地域創生も含め、特に成果が求められる。新たな決意は。

A 町長 町民の皆様は訴えてきたのは、「交流から定住」「住むならやっぱり神河町」で、①安心して暮らせる②みんなが活躍できる③未来に希望が持てるまちづくりをキャッチフレーズに地域創生事業をさらにスピードアップすることが大切である。高齢者の健康対策強化とあわせて、若者定住施策を中心に住宅・教育環境・希望を持つて結婚、出産、子育てができる施策の強化継続こそが、20年、30年後の神河町のまちづくり、その政策の延長線上に子どもから高齢者まで全ての人にやさしいまちづくりになることを確信している。

具体的には「子どもを健やかに生み育てる支援金」の拡充や「医療費の無料化を高校卒業まで延長」の検討、預けやすい保育所・幼稚園の環境づくりの提供など愛情と信念を持って子育て・教育を進める。

過疎から脱却のための活性化策は

Q 特に過疎が進み、地域の活力など衰退が著しい「長谷・越知谷」などの弱いところへの手立てが必要と強く思う。どのような守られる案をお持ちか。

A 町長 人手が少ない地域には人を、力を集める手立てで、課題解決に当たる。また、地域協議で対応することで、安心して暮らせる地域づくりなどに繋がる。

Q 神河町の南部「新野駅」「しんこうタウン」周辺の開発計画づくりが必要ではないか。

A 町長 町南部の開発計画は現在のところない。

Q 旧栗賀小学校跡地の開発は。

A 町長 子育てに関するご意見や、ご希望の施策のご提言等様々な住民の皆様の声で図書館や公園整備を検討しており、早急に整備したい。

これからの行財政改革はどのように進められるのか、目標や削減数値は。

A 町長 人口減少を勘案して、現在ある公共施設を約30%縮減する目標であり、強い決意を持って取り組む。

第2次大綱の主な数値目標(平成33年度末)は①財政調整基金13億円の確保②実質公債比率13.5%以下③経常収支比率90%以下④92%として取り組む。町として「住民にとって良いこと」を追求して必要な投資については思い切ってやっていきたい。



図書館や男女共同参画センター等の機能を持つ西脇市の複合施設「Miraie」

ひとこと

次の世代に繋がるように…

3期目のスタートにあたり抱負を伺う！ 町長・副町長・教育長の決意、抱負は！



廣納 良幸 議員

町長

- ① 安全安心のまちづくり
- ② 子育て・雇用・人口対策（最重要課題）
- ③ 公立神崎総合病院を核とした健康福祉のまちづくり！

そして、財政の健全

化を重点に町政運営を、国・県・関係機関の強力な御支援を得て進めます。防災行政無線整備に続き、2年間をかけ神崎エリアの光ケーブル化事業により、超高速インターネット



神崎総合病院北館イメージ図

ネット環境の整備。公立神崎総合病院北館改築の平成31年9月の一部オープン。旧粟賀小学校跡地利用については、PFI可能性調査からのまちづくり計画を進め、事業実施に向けて取り組んでいます。

また、給食費公費の一部負担、中学生以下医療費無料化を初めとした子育て支援策や、若者世帯向け町営住宅（新野・中村）建設、住宅新築、増改築、リフォーム等、住

宅取得補助と賃貸住宅への家賃補助など、実効性のある施策とともに、子どもの実現事業等により地域創生総合戦略に掲げている出生数80人に向けて、更なる支援策を強化しなければならぬと考えています。



若者世帯向け町営住宅
（新野駅前）

前副町長

町長を補佐し、町長の命を受け政策・企画を司り、その補助機関たる職員を担当する事務を監督することとされており、改めてその職責の重さに身の引き締まる思いです。今後は神河町の振興発展のため、多くの皆様の御支援により3選を果た

された山名町長が掲げておられる「交流から定住」、「住むならやっぱり神河町」を、キャッチフレーズに、お年寄りが安心し、子どもたちの笑顔があふれる、「ハートがふれあう住民自治のまち」の実現に向け、全職員と力をあわせ、一生懸命に心を込めて取り組んでまいります。

澤田教育長

第一は、知識・情報・技術をめぐる変化が早く、それに対応すべく、これから未来に向かって目標を持ち、自ら考える児童・生徒を育成しなければなりません。

第二は、社会教育の充実です。人権尊重の町宣言にもある「自分の命、そして全ての人の命を大切にする」を根底にすえて、乳幼児からお年寄りまで、生き甲斐のある生活をし、神河町に住んで良かったと思える教育を進めてきたいと思えます。

Q JR寺前駅周辺の活性化を



山下 皓司 議員

町長 西の玄関として総合的に取り組む

寺前駅周辺の活性化策を

・本年8月31日、寺前駅の近くのスーパー又右衛門が閉店し、毎日のように利用されていた方は当然のこと、周辺にとっても驚きでした。交通手段のない方は、すぐ生活に支障が出ました。寺前駅周辺の人通りが少なくなり、本当に寂しくなりました。

この状況を打開するため、寺前地域11区の区長から町へ要望書が出ています。また、その後、会議を持ち、地域内の方の意向を聞くアンケート調査を行い、取りまとめが終わったと聞いています。

Q 寺前駅活性化に対する町の基本姿勢は。

A 町長 神河町西の玄関口と位置づけ、整備してきた。この度オープンした峰山高原スキー場の玄関口として、重要性が増すと考えている。

買い物ができ、安心して暮らせるエリアとして、

総合的な地域活性化に向け、積極的に取り組む。

Q 又右衛門の跡地を町で購入する考えはないか。

A 町長 現時点では、単独で購入する考えはない。11区の取組を見守りたい。



又右衛門跡地

Q 寺前駅周辺の活性化のため、①駅ホームに観光案内板の設置②乗車に対する助成③民間駐車場と連携し、駅周辺駐車場の拡充等の一般質問に、検討するとの答弁であったが、取組の現状は。

・旧粟賀小学校跡地は、町の中心にあり、面積は約1万9500㎡で、大きな財産である。計画は地元意見も聞き、進められてきたが、広く意見を聞くべきとの声もある。議会への説明や意見交換の場もなく、コンサル任せで進んでいると感じる。

A 町長 古い観光写真は順次更新し、新たにスキー場の看板設置を進めていく。乗車補助は、協議を続けていきたい。

近隣民間駐車場の活用は、所有者の意向も確認し検討したい。

Q 旧粟賀小学校跡地利用計画は

町長

公民館や歴史遺産展示機能等を検討

崎公民館の閉鎖後の研修施設機能や歴史遺産展示施設等にあわせ、収益施設を整備する。また、PFI事業で可能性があれば、体育施設の整備も行うことを基本方針に、参加企業を募集し、9社の参加を得ている。(再質問で、住民への説明が欠けていると指摘した。)

Q 進捗状況と内容は。

A 町長 議会への報告は、委員会で行っているが、意見交換の場はなかったかと思う。地元意見や庁内会議を経て、神

Q 福祉ゾーンとして整備する考えはないか。

(質問時間切れで、答弁はなかったが、参加企業から提案があれば、検討する考えは示された。)

快速列車を止めるため、 長谷地域に観光コースを



小林 和男 議員

町長

関係者と協議して取り組み可能なことを
具体化したい

Q 長谷地区に観光コースをつくり、長谷駅で観光客を迎え、徒歩で観光ガイドをし、最後は長谷駅から乗車して帰っていただく。

A コースとして、長谷駅で下車し、寺前まで自転車下りコースをつくり、観光客を増やし乗車率アップを図ってはどうか。

町長 ウォーキング、サイクリングで外部からの誘客を推進し、乗降利用者を増やし、利用促進につなげることは大きな方策である。長谷地区振興を考える会で長谷駅の利用促進計画を策定中であり、地区外の方との交流も検討されている。その結果を踏まえた上で、長谷地域や観光協会等関係者と協議し、可能なことを具体化したい。

Q 駅)、このような横断幕を駅のホーム壁面に設置すれば、JRに対する神河町の取組アピールと乗客に向けた誘客宣伝効果が期待できるのでは。

町長 地域の皆様に愛される駅の愛称の取組は、とてもユニークな取組である。新野、寺前、長谷駅が今後とも地域の皆様に愛され、自慢できる駅にしていくことが、駅を守り地域を元気にしていく。壁や窓部分等へのカッティングシートであれば、協議が可能との回答を得ており、各駅の状態も確認し、具体的な検討を行いたい。

Q 駅の愛称を専門家に依頼する。例えば、新野駅（カーミンふるさと水車駅）、寺前駅（カーミン遊ぶスキー駅）、長谷駅（カーミン歩く高原



越知川名水街道自転車下り

Q 大河・長谷間の市川の景色が見えるように立木の伐採ができないか。竹田城列車は座席が窓側に向けてあるため、乗客目線ではこの間は苦痛である。乗客の苦痛を美しい眺望に変え、サイビスできる。これは神河の美しい景観宣伝と、長谷駅停車要望でJRに対して交渉カードになるのでは。

町長 杉林と雑木等が生い茂り谷間を通り過ぎるような閉塞感を感じる状態になっている。河川敷やJR用地も含め所有者が伐採の必要性をご理解いただかなければならない。該当区間は大部分が森林法の適用を受けられない区域であり、国県補助事業での間伐の対象とならず、町単独の間伐事業としても2分の1の所有者負担での事業実施となる。

仮に所有者が伐採するとしても、道路がないため搬出もできず、切り捨てとなることから、経費

面でもご理解いただけるものではないと考えている。また、町が実施するとしても、大河・長谷間のみならず、長谷駅から生野間の眺望もすばらしいことから、経費面が課題となる。今後とも観光戦略として景観形成に向けた取組ができないか可能性を探っていきたい。

ひとつ

水量減少期の川にユンボを入れて材木を搬出すればどうか。事業費に過疎債を充当すれば…。

Q

定住を促す施策内容は



三谷 克巳 議員

町長 空き家を活用して

A

住宅施策実績(空き家バンク・家賃補助・住宅取得補助件数)

地区名	合計件数	地区名	合計件数	地区名	合計件数	地区名	合計件数
新田	2	貝野	12	新野	5	上小田	3
作畑	3	しんこうタウン	1	野村	5	川上	1
大畑	2	寺野	1	比延	2	大川原	6
越知	8	柏尾	4	寺前	24	本村	1
岩屋	1	加納	3	鍛冶	7	赤田	1
根宇野	4	東柏尾	6	大河	2	重行	1
山田	8	吉富	11	上岩	6	為信	5
中村	35	杉	1	高朝田	2	峠	0
粟賀町	6	大山	1	宮野	1	栗	2
福本	54	猪篠	5	南小田	3	澗	0
合計							245

Q 町長は、定住の取組を3期目の政策課題としている。

人口減少対策として、空き家バンク事業、若者世帯の家賃補助、取得補助事業で成果をあげてきているが、これらの実績は。その実態をどう分析しているか。

A 町長 空き家バンク事業124件、若者

世帯の家賃補助76件、取得補助事業45件、合計で245件である。

実態は、町の中心部に集まっている。交流人口の増加を基本に、空き家を活用して、移住・定住につなげていきたい。

Q 町運営の基礎は、集落自治だと思ってい

山間部への移住・定住を増やす施策・事業をどう考えているか。

A 町長 空き家を利活用して促進していきたい。場合によっては、行政が空き家をリフォームし、賃貸することも考えたい。

Q 地域住民が、集落存続のために移住者を受け入れるという共通意識を醸成するための施策は。

で十分情報交換をしておく必要がある。現段階では、具体的な施策はない。

Q 移住者にも集落自治に参加してもらいたい。移住者に、集落の慣習や行事を事前に認識しておいてもらう必要があると思うが。

A 町長 区長を通じて情報を収集し、説明をしている。既に地域で活躍をされている方もある。移住者の会を組織されて情報交換もされている。田舎暮らしができる環境を、地域と一緒に考えていきたい。

ひとこと

日本の人口減少問題。神河町も縮図になっている気がします。

低額の年金生活者に 住宅維持の支援策を



松山 陽子 議員

町長 様々な角度からの検討が必要である

Q 60歳以上の高齢者や障がい者世帯の住宅バリアフリー化には、助成制度があるが、雨漏りや外壁などの修理は対象外である。

少ない年金で生活している方にとっては、家を維持する事も大きな負担であり不安でもある。安心して自宅で暮らしている応援制度を考えられないか。

A 町長 単独で修理費を補助している自治体はない。

預貯金や不動産、有価証券等がなく、親族等からの金銭的な支援もない場合で、年金額が生活保護費支給基準額（月額6万4000円）より低い場合は、住宅修繕費の扶助（11万7000円）を受けられることは可能である。

また、修繕費が多額になる場合は、中播磨健康福祉事務所の判断で、安いアパート等へ転居する手続きを行い、引越費用と家賃を支払うことができる。

Q 対象者は、長年にわたり家や山、田畑を守り、地域や町のための活動に積極的に協力してくださった方々である。何もかも手放さないと支援はしてもらえないのか。他にも、安価で修繕してくれる業者の登録や相談窓口の設置など取り組める事はあると思うが。

A 町長 今後、政策展開できるか担当課レベルで協議をしていきたい。

日本遺産「銀の馬車道」をどう活かすのか

町長 地域の活動を播磨へと繋いでいく

Q 11月25日にオープンした道の駅「銀の馬車道・神河」の現状は。

A 町長 オープン2日間で5000人もの来場者があり、飲食物や



現存する銀の馬車道

商品の提供が追いつかない状況であった。今後とも、来場者の声を反映しながら、中村・栗賀町の歴史的景観形成地区への人の流れと賑わいを繋いでいきたい。

Q それぞれの市町で、日本遺産に関連したPRやイベントを実施しているが、連携された取組となっているのか。

A 町長 住民の認知度を高めるための基礎づくりを各市町が実施しているところである。

今後は、各市町の事業と、中播磨県民センター等12団体からなる、日本遺産「銀の馬車道・鉱石

の道」推進協議会の事業を上手く絡ませ、地域の方と一緒に、保存から活用重視の展開へと発展させていく予定である。

Q 神河町の日本遺産と歴史遺産は、今後どう活かしていくのか。

A 町長 9月に発見された、福本遺跡の瓦の供給先と考えられる寺院跡は、継続して歴史的裏づけを行う。また、銀の馬車道が現存する畑川原池の周辺整備も行い、地域や関係施設、推進協議会事業と連携し、PRや活動を計画していく。

ひとこと

その立場になって初めて分かることが多くある。周囲の人に理解してもらうには、やはり声に出さないと…

主な議会日程

2月

6日(火) 産業建設常任委員会

7日(水) 民生福祉常任委員会

9日(金) 総務文教常任委員会

13日(火) 公立神崎総合病院北館
改築事業調査特別委員会

峰山高原スキー場整備
事業調査特別委員会

26日(月) 議会運営委員会

3月

1日(木)～2日(金)
5日(月)～6日(火)

第83回定例会

(提案・質疑等)

7日(水) 総務文教常任委員会

(付託議案)

8日(木)～9日(金)

予算特別委員会

(付託議案)

14日(水)～15日(木)

定例会(一般質問)

23日(金) 定例会最終日(採決)

※この日程は変更となる場合があります。

第82回
定例会

いっぱい質問 ケーブルテレビ放映

下記のとおり再放送が行われます。ぜひご覧ください。

《2月6日(火)》

- ① 藤原 裕和 議員 午後7時00分～
- ② 廣納 良幸 議員 午後8時00分～

《2月7日(水)》

- ① 山下 皓司 議員 午後7時00分～
- ② 小林 和男 議員 午後8時00分～

《2月8日(木)》

- ① 三谷 克巳 議員 午後7時00分～
- ② 松山 陽子 議員 午後8時00分～

第38回兵庫県 町議会広報紙コンクール 努力賞受賞



第38回兵庫県町議会広報紙コンクールにおいて「議会だよりかみかわ第50号」が努力賞を受賞しました。

あ
と
が
き



明けましておめでとうございます。

町民皆様には、ご家族お揃いで輝かしき初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、近年全国各地で自然災害が猛威を振るっている中で、我が町は幸いにも大きな災害も受けず平穏無事に暮らさせていただけることから感謝したいものです。

この恵まれた環境を大切にしながら、いつまでも心穏やかに暮らしていけるように、町民皆様の心温まるご意見を汲み入れながら、心から「住みよい町、これからも住み続けたい町」と感じていただけた「まちづくり」を目指していかなければと決意を新たにしています。

本年が、町民皆様にとりまして幸多き良き年でありますようお願い申し上げますとともに、倍旧のご支援ご指導を賜りますようお願いいたします。

(M・F)

広報公聴活動調査
特別委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員 長 | 藤原 資広 |
| 副委員 長 | 三谷 克巳 |
| 委員 | 山下 皓司 |
| 委員 | 藤森 正晴 |
| 委員 | 小寺 俊輔 |
| 委員 | 松山 陽子 |